

さいたま市長メッセージ（令和3年1月20日）

皆さんこんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

わが国で、初めて新型コロナウイルスの感染が確認されてから、1年が経過しました。未だ、この感染症の収束が見えない中、ワクチン接種に大きな期待が寄せられています。

本日、本市は、新型コロナウイルスワクチン対策室を設置しました。県の計画では、準備が整い次第、まずは2月下旬から医療従事者等の皆様、次に3月下旬から高齢者の皆様へとワクチンの接種を進めていく予定です。

本市の新規陽性者数は、1月18日までの1週間で、2,509件の検査を実施し、547名が確認されています。1月7日に緊急事態宣言が発出されたものの、14日と15日には100名を超えるなど、依然として非常に多い状況が続いています。

18日現在、入院中の市民の方は、軽症、中等症の方が143名、重症の方が7名で、いずれも、これまで最も多くなっています。また、市内の自宅療養者は1,309名で、今月に入り急激に増加しています。

埼玉県全体の医療提供体制もひっ迫しており、これまで以上に極めて厳しい状況です。

このような中、感染拡大を食い止め、医療提供体制を守るために、今一度、市民の皆様お一人お一人が、感染防止を強く意識し、不要不急の外出自粛等にご協力いただくようお願いします。

先が見えない状況により、非常に不安なお気持ちでお過ごしのことと思い

ます。一日でも早く、緊急事態宣言が解除されるように、力を合わせて、
頑張っていきましょう。